

いずれにしても初めて行う処理方法なので、町の環境美化のためにも皆さんに協力していただきたい。なお、今後地区の役員さん方の意見を参考に、不都合が生じる点があれば改善したい。

ごみ処理の有料化

問 今まで無料で処理できていたものがなぜ有料となるのか。

答 将来にわたり清潔で快適な生活を送るためには、計画的かつ総合的にごみの処理がおこなえる施設が必要とされ、平成6年度からリサイクルプラザの建設が進められていたが、この施設が完成し、4月からは、当町のごみのほとんどがここで総合的に処理されることになった。

なお、この施設は5町村による共同経営であるため、稼働前に関係町村間で何らかの協議を行なった結果、各町村の負担金を増やすとともに、受益者の均等化を図るためにも多少の負担をせよという事になった。

沖縄の現状

問 戦後50年以上たった現在でも、米軍基地の存在に脅えながら日々を過ごしている沖縄県民の実態をどう考えているのか。また、国との間に立ち、県民生活の向上に努力している知事を激励する意志はあるのか。同じ

地方行政を預かる者としての姿勢を伺いたい。

答 私人としては、沖縄県民の感情や知事の立場は充分理解できるし、応援もしていきたい。しかし、この問題は国際的にも非常に大きな問題なので、今後の社会情勢を冷静に見守りたい。

住専問題

問 政府は、営利目的で負債をかかえた住専について、国民の大切な税金を使おうとしている。いくつかの地方議会でも「税金は使うべきではない」という議決がなされているが、町長はこの問題をどう考えているのか。

答 住専問題については、連日テレビや新聞などで大きく伝えられているし、また、いくつかの町村議会で意見書等が採択されたことも聞いている。しかし、この問題も国レベルの問題なので、行政の長としての発言は控えさせていたが、ただ、長期にわたり、景気が停滞している時なので、早期に平成8年度予算の法案が成立するよう願っている。

骨粗鬆症

問 40才以上の者が多数受診を希望しているにもかかわらず、現在当町では、20歳から39歳までの者は希望すればすぐ検診してくれるが、40歳以上は、最初

に講演を受講しなければ検診してもらえない。勤めなどの関係で、どうしても受講できない者は、検診が受けられないのか。

答 一般的に女性の骨量は、20代から30代が最も多いとされ、その後は徐々に減少してくると言われている。まず若いうちに検診し、骨が正常であるかどうかを確かめるのも大切なことだと思ふ。しかし、40歳以上で、講演を受講しなかった者は、検診を受け付けられないという方法は好ましくなく、反省するとともに今後は検診方法について再検討したい。

草刈り条例

問 火災の発生を未然に防ぐことや、ごみの不法投棄などの問題から、平成7年3月に条例化された草刈り条例だが、制定後の効果はどうか。

答 草刈りを実施していない土地の所有者に対し、勧告書の送付をするともに、遠距離所有者には、業者を紹介した文書も併せて発送した。その結果、ほとんどが刈り取りを行ってくれたが、まだ処理されていない場所もある。その所有者に対しては、更に勧告するとともに、特に危険と思われる箇所については町で刈り取ることも考えている。

※以上、一般質問の概要を掲載しました。

新収入役に 市原徳礼氏 4月1日、臨時議会で選任



平成4年4月1日から4年間、収入役として町の出納業務に携わってきた、林正一郎収入役が退職され、4月1日に開催された臨時議会において、鳥喰下の市原徳礼氏が、新たに選任されました。

市原さんは、現在59歳。昭和32年に町職員として奉職し、昭和48年からは、住民課長、企画課長、福祉保健課長、税務課長、企画空港対策課長、都市整備課長、総務課長を歴任した方です。

町消防団長に

實川辰雄氏

横芝町消防団長を2期4年間勤めた伊能央氏の後任として、實川辰雄氏（58歳）が4月1日付けで、町長より任命されました。

實川団長は、昭和32年より消防団員として町消防活動に貢献され、平成4年からは副団長として団員の指導育成に努められた方です。



消防団に与えられた使命を深く認識し、各団員と共に地域防災のため努力してまいりますので、皆様の暖かいご支援とご協力をお願いいたします。